



第2回学校運営協議会開催

「子ども達をどう育てるか」という目標やビジョンを地域の方々とともに考え、実現し、特色ある学校づくりに生かしたい。



12月2日(木)に、第2回学校運営協議会を開催しました。

今回の協議のテーマは、「令和4年度の教育計画について」でした。授業中の生徒の様子やコロナ禍で学んだことから、①より良い学校活動等はどうあるべきか ②中学生と地域の『かかわり』をどうつくるべきなのか、という議題について熟議し、方向性を模索していただきました。

- 当日の流れ■
- 1開会 2あいさつ(1)運営協議会長 (2)校長 3座長選出
 - 4協議 ①学校評価について
 - ②熟議 ◇よりよい教育計画にするために
◇中学生と地域との『かかわり』をどのようにつくりていくか
 - 5その他 6閉会

令和3年度 長井北中学校学校運営協議会 委員名簿

(敬称略 ◎会長 ○副会長)

NO	氏名	所属・役職名	備考
1	◎大竹 仁	中央コミュニティセンター館長	地域代表
2	○梅津 洋	長井小学校長	関係機関
3	横澤 敏	致芳コミュニティセンター館長	地域代表
4	高橋 順一	西根コミュニティセンター館長	地域代表
5	鈴木 義明	致芳小学校長	関係機関
6	佐々木友明	西根小学校長	関係機関
7	菅 和悦	中央地区子供会育成会連絡協議会顧問	地域代表
8	青木 輝子	西根地区主任児童委員	地域代表
9	深澤 賢一	PTA会長	保護者代表
10	佐々木綾子	PTA母親委員長	保護者代表
11	目黒 孝博	学校教育課長	事務局
12	深瀬 柊介	地域づくり推進課主事	
13	大場 隆	コミュニティ・スクールディレクター	
14	迎田 浩昭	長井北中学校長	
15	横澤 聡一	長井北中学校教頭	
16	仁科佳代子	長井北中学校事務主査	
17	中善寺由美	地域学校協働活動推進員	



「熟議」：各委員からのご意見等

「よりよい教育計画にするために」について

◇修学旅行の実施について

- 学校から——「長井市との協議により、2 学年を対象として、東京都大田区商店街との交流を目的に、関東方面 2 泊 3 日で実施する予定です。」と学校側から説明させていただきました。「安全・安心」を最優先に、今後も検討してまいります。

◇家庭訪問や通知表所見欄の見直しについて

- 十分な相互理解が進んでいない時期に家庭訪問を行うより、学級懇談会で方針の確認や年間の見直しを持ち、1 学期末の三者面談でじっくりと情報共有を図る、今年の進め方に魅力を感じた。
- 家庭訪問や通知表の所見がなくても、三者面談で相互の理解が深まれば、それで充分である。家庭の負担軽減にもなると思われる。
- 懇談会に参加なさらないご家庭もあると、お聞きしている。家庭訪問に代えて三者面談等を行う趣旨について十分説明し、多くの方の理解と参加が得られる対策が必要だ。

◇5時間授業を週3日設定し、平日の部活動は2時間以内とすることについて

- 学校評価の中に、生徒と保護者から「ゆとりがあってよい。」という声があった。継続したい取り組みである。
- 「家庭の学習や生活向上に、必ずしもつながっていない。」という指摘がある。家庭学習の進め方、家族の一員としての役割の果たしかたなど、家庭と連携して自覚させていきたい。
- 先生方の日々のご指導に感謝している。しかし、在校等時間の大きな減少にはつながっていない。むしろ時間外勤務が増えている状況。意識改革が必要ではないか。

◇学校行事の内容や、準備と実施にかかる時間の見直しについて

- コロナ禍において、時間や内容の縮減はやむを得ないことは理解している。
- 運動会には、団体戦や個人種目ならではの達成感がある。時間をかけても、感染症予防対策を講じて、種目等の充実を希望する。
- 運動会や文化祭の平日開催に賛成。土日開催だと、平日休みとなり、子ども一人での留守番となる。周辺では、実施している学校もある。
- 各行事の目的やねらいを振り返り、来賓の人数を見直すなどして、密を避けながら、「安全・安心」を最優先していきたい。
- 家庭や地域で見せる顔と、学校で見せる顔が異なる子どももいる。学校での姿を見たい親もいる。ぜひその機会を設けてほしい。

「中学生と地域との『かかわり』をどのようにつくっていくか」について

- 中学生は、小学生の憧れの存在となっている。今後もいろいろな場での交流を期待している。
- 長期休業中に、中学生の学習ボランティアを募り、小学生に学習指導をしてもらった。大変好評であり感謝している。中学生の自信につなげながら、今後も継続して活躍させていきたい。
- 地域の活動に目を向けるような声かけを、学校からもぜひお願いしたい。

他にも・・・

- ・授業に一生懸命向かう姿から、「わかるようになりたい」という意志を感じた。
 - ・仲が良い雰囲気、安心感の中で学習していた。
 - ・生徒数の減少にともない、部活動の見直しが急務となっている。南北中合同の活動やチーム編成など、検討すべきである。
- などのご意見をいただきました。令和4年度に向けて、計画や準備を進めてまいります。